

山口県をバドミントン王国に！～今井選手引退～

3月3日の引退セレモニーをもちましてACT SAIKYOから今井選手、中村選手、加藤選手が引退しました。
これまで温かいご声援を送っていただいた皆さま本当にありがとうございました！



●今井 優歩(イマイ ユウホ)

【生年月日】1995年6月29日

【出身地】奈良県

【経歴】四天王寺高校

【戦歴】2014年 全日本総合 複16強

2016年 全日本社会人 複8強、シドニーインターナショナルチャレンジ 複優勝

2017年 ロシアオープン 複2位、全日本総合 混合複8強

2018年2019年 ランキングサーキット 混合複8強

◆今井さんからメッセージ◆

私は2014年に西京銀行に入学しACT SAIKYOに入団しました。最初は練習についていくのがやっとなで実業団選手としてやっていけるのか不安もありました。でも、優しくて頼りになる先輩がいて、熱心に指導して下さるチームスタッフがいてどんな時でも応援して下さる西京銀行の皆さま、スポンサー企業の皆さま、そして地域の方々が私の支えとなりました。

1年目からたくさんの経験をさせてもらい色々な事にチャレンジさせていただきました。中でも、チームの目標であった1部リーグに昇格してトップリーグで戦う事が創部5年目で実現したことが今でも印象に残っています。昇格してからチームは沢山の方々のご協力がありどんどん成長しています。

素晴らしい環境で練習することが出来て感謝しています。バドミントンに集中できる環境があるからこそ悩む事も沢山ありました。うまくいくなんでめったにないと分かっているけど、うまくいかずモヤモヤしたり、思うような結果が出ずに落ち込んだりしました。怪我をして長期リハビリをしたこともありました。でも、試合で勝ちたい。応援して下さる方に恩返しをしたいと思う気持ちの方が大きくて8年間選手としてやってこれたのだと思います。

選手として活動していく中で沢山の事を学ばせて頂きました。地域貢献活動でバドミントン教室や様々なイベントに参加させてもらいバドミントンの楽しさをたくさんの方に伝えることができました。その中で私は選手という立場ではなく指導者としてバドミントンに携わっていきたく思うようになりました。ACT SAIKYOには素晴らしい指導者の方が沢山おられるので色々な事を吸収しながら自分自身も成長していきたいと思っています。ACT SAIKYOでプレーできた8年間、沢山の方と出会い応援して頂き、改めて山口県に来て良かったと思います。本当にありがとうございました。



1部リーグ昇格の立役者！



ダイナミックなプレーで大活躍！

これまでたくさんのご声援ありがとうございました！



●中村 麻裕(ナカムラ マユ)

【生年月日】1995年3月13日

【出身地】福岡県

【経歴】九州国際大付属高校→九州国際大学

【戦歴】2012年 高校選抜 団体優勝

2016年 インカレ 複16強

2018年 オルレアンマスターズ 複8強

2019年 秋田マスターズ 複3位、全日本総合 複16強

◆中村さんからメッセージ◆

5年間、西京銀行の一員としてACT SAIKYOの一員として過ごしてきました。仕事とバドミントンの両立で不安もありましたが、会社の方もすごく優しくいつも温かく応援をいただきました。試合前には「頑張ってるね」。試合が終われば「結果見てたよ！お疲れ様！」と声をかけていただき、本当に私の力となり、励みになっていました。S/リーグや地元で試合があれば、会社の方、地元の方、本当に多くの方が応援に来てくださりACTの応援をして頂きました。勝った時も負けた時も、どんな時でも声をかけていただき一つ一つが温かくて本当に嬉しかったです。感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

この5年間、色々な経験をさせていただきました。心から、西京銀行に来てよかったと思います。自分を成長させていただけた事に感謝いたします。

毎日の練習は、本当にきつかったし、泣きながら走った事もあるし、バドミントンから離れたくなった時もありました。でも、このチーム、スタッフ、チームメイト、家族の存在があったからこそ私はここまでやってこれました。めげそうになっても辛いのは私だけではない、自分の好きなバドミントンを諦めてはいけなと、とても大事なことを何度も見つめ直すこともできました。このメンバーと一緒に戦えたことは私にとって貴重で誇りです。

(チームの)みんなにも本当に感謝しています。ランニングの時にたくさん背中を押してくれてありがとう。これからも大変なこともあると思うし気持ちが折れそうになることもあると思います。でも、今だからそんな経験ができるのだと思います。キャプテンの柏原を先頭にどんどん前へ突き進んでいってください。本当に応援しています。チームのみんな1人1人が輝けるようサポートしていけたらいいなと思いますので、何かあれば気軽に話してきてください。そして今まで相方として一緒に頑張ってきた美南のことも宜しくお願ひします。私の代わりにビシビシ引っ張って行ってあげてください。

そして最後になりますが、小学生の時からずっと応援してくれた家族。一番の理解者であり、感謝してもしきれませんが、家族の応援・存在があってここまで成長してこれました。本当にありがとうございました。バドミントン人生はここで終わりますが、これからは私が沢山恩返しをしていきます。これからも宜しくお願ひします。

関わっていただいた全ての皆さまに心から感謝申し上げます。本当にお世話になりました。ありがとうございました。

これまでたくさんのご声援ありがとうございました！



●加藤 美幸(カトウ ミユキ)

【生年月日】1995年4月14日

【出身地】岡山県

【経歴】倉敷中央高校→筑波大学

【戦歴】2014年～2017年 インカレ団体優勝

2015年・2017年 インカレ複優勝

2018年 全日本社会人 複3位

2019年 ランキングサーキット 複2位

2022年 全日本総合 混合複3位

◆加藤さんからメッセージ◆

4年間ありがとうございました。バドミントンを小学1年生の時から始めてここまで続けられるなんて思っていませんでした。始めた頃から厳しい練習の日々でバドミントンを楽しいと思えた事は少なかったです。ただ、父母をはじめ、私を指導してくれた人たちはたくさんのエネルギーと愛情を私に注いでくれました。見放さず、支え、共に戦ってくれた人がいつも私には居てくれたからこそまでやってこれたのだと思います。

山口県に来て、沢山の人のに出会いました。職場では、居ないことは多いし、迷惑ばかりかけていたのに、出勤の日はずっと温かく迎えてくれて、親身になって指導していただいて、出勤することがいつも楽しみでした。応援して下さった方には、会場まで足を運んでもらって、かけてもらえる言葉に何度も励まされました。計り知れないくらい応援していただいたのに、応えることは到底できなかったけどこんな温かいチームに入れてもらえて、たくさんの人と出会えて、夢を追いかけることができ本当に幸せでした。

いざ、引退するとなって思う事は柏原とダブルスを組めて本当に良かったということです。苦しかった4年間で、上手いかなかった事が多かったふたりだったけど、大切な存在で柏原さんとだから上を目指したいと思えたんだと思います。

これから第二の人生が始まります。バドミントンしかしてこなかったのが多少不安はありますが、人との出会いを大切に、自分で道を切り開いていきたいです。ありがとうございました。



**これまでたくさんの
ご声援ありがとうございました！**

“カトカシ”の愛称でチームのエースとして活躍

山口県をバドミントン王国に！～引退セレモニーの様子～

- 8年間ペアとして戦ってきた“カトカシ”ペア。最後のダブルスを披露しました。



- チームの中でも安定したプレーを発揮していた中村/今井ペア。最後のダブルスとなりました。



これまでたくさんのご声援ありがとうございました！